

## 病児・病後児保育事業の今後の展開について

### 1 現状と課題

区は、子どもが病気の回復期または回復期に至らない状態のため、集団保育等が困難な時期に、専用保育室のある施設において一時的に子どもを預かることにより、子育てと就労等の両立を支援しているところである。現在、病児保育は区内1か所、病後児保育は区内2か所で実施しているが、実施施設の立地や利用定員に限られることなどから、より使いやすいサービス等への改善を望む区民ニーズが存在している。

#### 【病児・病後児保育事業の実施状況】

| 施設名                           | 区分    | 実施時間                 | 利用定員   |
|-------------------------------|-------|----------------------|--------|
| 総合東京病院 病児保育室<br>(江古田 3-15-2)  | 病児保育  | 月曜日～金曜日<br>9時～17時    | 1日3名まで |
| 仲町保育園 病後児保育室<br>(中央 3-41-12)  | 病後児保育 | 月曜日～金曜日<br>8時～18時    | 1日6名まで |
| 聖オディリアホーム乳児院<br>(上鷺宮 5-28-28) | 病後児保育 | 月曜日～金曜日<br>8時30分～18時 | 1日2名まで |

#### 【利用実績（延利用人員）】

| 区分    | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
|-------|-------|-------|-------|
| 病児保育※ | 0人    | 26人   | 70人   |
| 病後児保育 | 254人  | 313人  | 284人  |
| 合計    | 254人  | 339人  | 354人  |

※病児保育事業は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により令和3年度及び令和4年度上半期は一時休止。

#### 【「中野区子ども・子育てアンケート調査」の実施結果】

- お子さんの病気等で教育・保育事業を利用できなかった際に病児・病後児保育を利用した人以外で、「できれば病児・病後児保育施設を利用したい」と回答した人  
 平成30年度調査：36.8% → 令和5年度調査：49.9% ※13.1ポイント増加
- 子育て支援施策に関する自由意見（一部抜粋）
  - ・病児保育施設の充実と利用までの手続きや条件の簡略化をお願いしたい。
  - ・保育園に風邪などで預けられないときに預けられるサポートや補助を増やしてほしい。

## 2 今後の取組の考え方

上記を踏まえ、子育て家庭が必要とするときにサービスが利用できるよう、病児・病後児保育事業を改善していく。

### (1) 施設型病児・病後児保育事業の拡充

- 実施施設の立地などを考慮しつつ、新たに病児・病後児保育を開始する事業者を誘致し、事業実施に対しての支援等を検討する。
- 今年度策定する子ども・子育て支援事業計画（第3期）にて、今後5年間の病児・病後児保育の供給量を見込むこととする。

### (2) ベビーシッター利用支援事業（一時預かり利用支援）の対象拡大

- 令和6年度当初予算にて計上しているベビーシッター利用支援事業（一時預かり利用支援）の拡充により、保育園等に在園している児童も対象とし、居宅訪問型のサービスとして病児・病後児保育事業を補完する。

## 3 今後のスケジュール（予定）

令和6年6～8月 病児・病後児保育事業拡充の考え方についての検討

9月以降 病児・病後児保育事業者の公募開始

10月以降 ベビーシッター利用支援事業（一時預かり利用支援）の対象拡大

令和7年度 病児・病後児保育事業の施設数の拡充